29) 脊髄膠様質ニューロンから記録される抑制性シナプス後電位（IPSP）

馬場　洋（新潟大学麻酔科）

成熟ラット脊髄スライス標本を用いて膠様質ニューロンから細胞内記録を行い，long-lasting slow IPSP（L.S. IPSP）の解析を行った．L.S. IPSP は稀にしか記録されないが，Bicuculline，Strychnine で誘発されることがある．L.S. IPSP は APV（NMDA antagonist）により著明に抑制されたが，CNQX（non-NMDA antagonist）では抑制されなかった．L.S. IPSP は Yohimbine（α2 antagonist），Saclofen（$GABA_B$ antagonist）によって一部抑制された．また，Somatostatin 投与による過分極反応中は，細胞内通電により静止膜電位レベルに戻しても L.S. IPSP は消失した．L.S. IPSP は GABA（B），Norepinephrine，Somatostatin による IPSP から構成されていると考えられる．L.S. IPSP は脊髄後角での侵害情報処理過程において重要な役割を果たしている可能性がある．

II. 特 別 講 演

“脳志向型集中管理と人工呼吸”

川崎医科大学麻酔・集中治療学教室教授
左 利 厚 生 先生